

# 令和8年度畜産堆肥循環型農業団地形成モデル事業

農林水産部農業技術課・畜産課  
R8当初要求額：8,000千円

- ・近年の化学肥料価格高騰に伴い、有機農業をはじめとする持続性の高い資源循環型農業に注目が高まっている。
- ・農業経営を圧迫する化学肥料より安価な畜産堆肥の散布には専用の散布機が必要となるが、主にその散布を担う畜産農家の労力的な負担が、畜産堆肥利用拡大の課題となっている。
- ・畜産農家がより作業性に優れたペレット堆肥等の良質堆肥を生産・供給し、耕種農家自らがその堆肥を散布・利用できる体制をすることで、畜産農家の負担軽減による規模拡大・所得向上や耕種農家の農業経営における生産コスト低減を図る。
- ・畜産農家と耕種農家が地域で一体となった循環型農業の取組に対して面的に支援し、新たな農業所得向上モデルを構築する。

## 【1】事業内容

### 耕種農家向け堆肥散布・利用支援(8,000千円)

- ①堆肥運搬・散布に必要な機械(ハード)整備(補助率1/2以内)(4,000千円)  
ex)堆肥専用運搬車、堆肥散布機等
  - ②堆肥利用農家への購入補助(ソフト支援)(4,000千円)
    - ・ペレット堆肥購入費補助(定額400円/20kg)
- ※畜産農家への堆肥生産(ペレット堆肥化)施設導入から耕種農家はその堆肥を利用する取組までには時差が生じるため、施設整備後、耕種農家への堆肥利用の支援を一定期間継続する必要がある。

## 【2】対象者：耕種農家

- 農業団地(任意組織)：2戸以上の「畜産農家」と2戸以上の「**耕種農家**」で構成
- 畜産農家：ペレット堆肥を生産・構成員となる耕種農家へ供給し、収益向上を見込む農家。  
耕種農家：構成員となる畜産農家が生産するペレット堆肥を利用し、収益向上を見込む農家。

## 【3】事業対象団地：R7に形成した1団地(下妻市、筑西市)

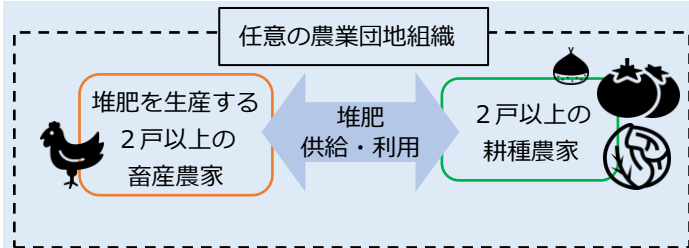
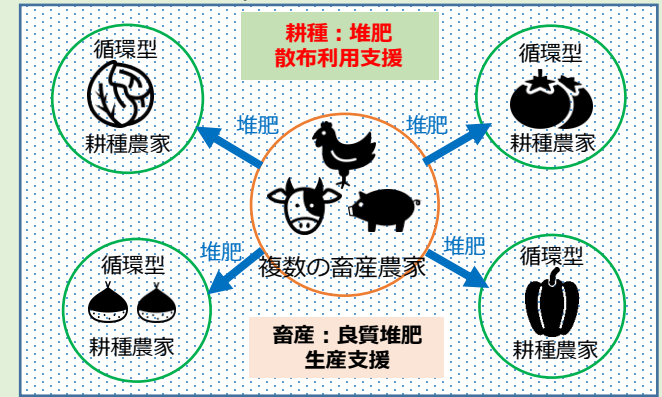
…既存の畜産農家を中心に、その周囲に循環型農業を展開し、農業団地の取り組みを推進。

## 【4】事業の仕組み

畜産農家が堆肥生産、耕種農家が堆肥利用しやすい仕組みを団地で形成



## 農業団地イメージ図



## 【5】事業スケジュール(R8年度内完了)

